

在宅医療・介護連携推進事業 国の定める8事業(ア)～(ク)と備前市の取り組み

国の定める事業項目	備前市の取組方針	平成27年度の取り組み	平成28年度の取り組み(案)
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	・医療・介護資源マップの作成	・医療・介護資源マップの作成	・掲載内容の変更、修正の反映 ・市民への公開(ホームページ掲載)
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	・「在宅医療・介護連携推進協議会」を設置し、備前市における医療・介護連携のルール等を協議	・要綱の作成等準備業務 ・「在宅医療と介護に関する住民アンケート調査」「施設看取りの実態調査」	・協議会設置、開催(3回)
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	・チーム医療、チームケアの体制づくり	・入退院支援ルールブックの作成(備前保健所東備支所) ・市立3病院退院窓口の連絡会	・ルールブックの普及、実践評価と改善 ・在宅療養後方支援病院など病診連携のさらなる強化策の研究
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	・入退院時の連絡、情報共有ルールの確立と普及 ・ICT活用によるリアルタイムな情報共有の促進	・研修会「ICTで多職種をつなぐ」の開催	・協議会で連携手法の検討 ・備前市仕様のICT連携ルールの研究
(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	「(仮称)在宅医療介護連携支援室」を設置し、医療・介護関係者の相談・調整を行う	・保健課、介護福祉課、福祉事務所の各窓口で対応	・市関係部署で開設に向けた協議 ・ICT利用権限の管理等を含む業務範囲の検討
(カ) 医療・介護関係者の研修	・多職種ミーティングの開催による顔の見える関係の強化 ・医療介護相互の専門職研修の充実	・医療と介護と福祉の多職種が参加： 多職種ミーティング、顔の見える連携会 ・介護事業所が参加： 介護事業所のつどい、認知症ケア研修会	・多職種ミーティング3回、顔の見える連携会1回 ・看護職の在宅医療や介護に関する研修会及び介護職向けの医療知識向上のための研修会
(キ) 地域住民への普及啓発	・在宅医療と看取りに関する市民への意識づけ	・2/20 茨城県立健康プラザ 大田仁史先生による「最期まで人間らしく生きる～介護予防から終末期リハビリ」の講演会	・9/22 世田谷区立特別養護老人ホーム「芦花ホーム」石飛幸三氏講演会 ・サロン等での出張学習会の開催
(ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	近隣市町との情報・意見交換、専門研修等の合同開催の実現	・近隣市との協議(連携することで効果・効率が上がる事業について)	・近隣市町との専門研修等の合同企画・開催に向けた体制づくりの研究